



Data

監督：F・ゲイリー・グレイ
脚本：クリス・モーガン
出演：ヴィン・ディーゼル/ドウェイン・ジョンソン/ジェイソン・ステイサム/ミシェル・ロドリゲス/タイリース・ギブソン/クリス・“リュダクリス”・ブリッジス/ナタリー・エマニュエル/シャーリーズ・セロン

■■■ショートコメント■■■

◆考えてみれば、ヴィン・ディーゼル演じるドミニクを主演とする、車好きにはたまらない『ワイルド・スピード』シリーズを、私はこれまで一度も観ていなかった。今回の『ワイルド・スピード ICE BREAK』はそのシリーズ第8作だが、予告編を観たところ、タイトルとおり、今回は車が氷の上を疾走したり、潜水艦との戦いまで登場しているらしい。また、今回はヴィン・ディーゼルの他、ジェイソン・ステイサムが共演するうえ、ハリウッド・ビューティーを代表する（もう古いか?）シャーリーズ・セロンまで登場するらしい。

そして、ワイルド・スピードファミリーを率いていたリーダーであるドミニク・トレット（ヴィン・ディーゼル）のまさかの「裏切り」によってファミリーが崩壊の危機に直面するところから、本作のストーリーが始まるらしい。そんな予備知識を持って、今回ははじめて『ワイルド・スピード』シリーズの第8作を鑑賞することになったが・・・。

◆本作冒頭の舞台は、キューバ。かつてはアメリカの敵であったキューバとアメリカとの関係は近時急速に回復しているが、本作ではまずキューバを舞台として、ドミニクのワイルド・スピードぶりが披露される。オンボロの車をちょっと改造しただけで、メチャクチャなスピードが出るようになったうえ、最後にはホントにエンジンから火を噴かしながらレースを駆け抜けていくので、それに注目！

そんなカッコいいレース博打の後、本作の本格的ストーリーが展開していくが・・・。

◆『ワイルド・スピード』シリーズも第8作を迎えると、人間関係は相当ややこしくなってくるようだ。ワイルド・スピードファミリーのリーダーはあくまでドミニク。そして、その恋人（今は妻）のレティ・オルティス（ミシェル・ロドリゲス）や敏腕ハッカーの女性ラムジー（ナタリー・エマニュエル）等が仲間だ。少し微妙なのが、FBI捜査官として当初はドミニクを捕まえる役割だったが、その後ドミニクとの間に友情が芽生え、今で

は共に戦う仲間になっているルーク・ホブス（ドウェイン・ジョンソン）。そして今回、微妙な役で登場するのが、前回ドミニクの敵として登場した、元英国特殊部隊のデッカード・ショウ（ジェイソン・ステイサム）。さらに今回初登場するのが、潜水艦を操る謎の美女サイファー（シャーリーズ・セロン）だ。

◆これらの登場人物による話はややこしく、私は半分眠ってしまったが、誰が敵で、誰が味方は？そして、誰が何を目標として活動しているの？それを本作で真面目に考えたい人は、本作のストーリーの軸をしっかり把握しなければならないが、逆にあまりそれにこだわらず、激しいレースと迫力ある音声に身を委ねたい方は、半分居眠りしながらでも十分楽しめるのでは・・・？

◆2001年の春に自社ビルである西天満コートビルに事務所を移転し、翌年には自宅マンションを事務所から徒歩1分のところに購入した私は、その1年後に車を売り払ってしまい、その後は一切車の運転をしていない。そのため、今は車への興味がなくなってしまったが、それでも近時のトヨタのレクサスシリーズ等への関心は少しはある。

本作にはどんな車が登場するの？そんな興味を持って『ワイルド・スピード』シリーズを観ている人は多いはずだ。しかして、本作には500台限定で販売価格は3000万円だが、現在は5000万円もするレクサスプレミアムカーをはじめとする、ベンツ、ベントレイ、ジャガー、シボレー等の各種の名車が登場するそうだから、車好きの人はそれにも注目しながら本作を楽しみたい！

2017（平成29）年5月9日記